

「ONE TEAM “チーム秋穂”」



全学年、2学期期末テスト終了



1年生



2年生

秋穂中 HP
QRコード



秋穂中 TEL
083-984-2114



3年生

期末テスト終了

3年生は11月20日(水)、21日(木)に、1, 2年生は11月26日(火)、27日(水)のそれぞれ2日間、2学期の期末テストが無事に終了しました。しかし、後はクリスマスと正月のある冬休みを待つだけ?と言う訳にはいきません。今回、3年生のテストが1週間早いのは、受験の日程が年々早まっている影響です。

3年生にとっては、いよいよ受験のラストスパートとなる大切な時期となります。また、1, 2年生にとっても1年間で締めくくる大切な時期です。今年最後の1ヶ月を、今年を振り返りながら、来年の計画を立てる、そんな有意義な時間にしてほしいものです。

将来の夢

3年生は、11月16日(土)のオープンスクールの日に、第2回進路説明会がありました。

また、来週12月2日(月)から3日間、保護者会(三者懇談)があります。高校受験に向けて、志望校を決定するなど、具体的な話し合いが行われる大切な機会です。ぜひ、ご家庭で、前もってじっくり話し合いをされた上で、保護者会に臨んでいただきたいと思います。

私も中学3年生当時を思い出すと、私は大学進学に向け、公立の普通科高校進学を決めており、将来の職業も「中学校の社会科教員」と決めていたもので、ものの5分もかからなかった記憶があります。なぜ、中学校の社会科教員になりたかったかという、テレビ番組の影響です。そのテレビ番組は知っている人も多いと思いますが、「スクール・ウォーズ」と呼ばれるノンフィクションの学園ドラマで、一人の高校教師がラグビーを通して、俗に言う「不良の生徒」を心身ともに鍛え

上げ、見事日本一になるという内容です。私は感動し、〃ぜひ、自分も教員になって、このような経験をしたい。部活動で日本一になりたい〃と思ったのを今でも思い出します。また、社会科を選んだのは、中学校の時に習った社会科の先生に憧れたからです。社会科の授業がともおもしろかったことはもちろんですが、部活動をはじめ、いつも生徒と一緒に活動される姿を見て、いつしか〃自分もこんな先生になりたい〃と思うようになりました。

山口良治(やまぐちよしはる) 先生

山口先生は今年で御年81歳。言わずと知れた1984年TBSドラマ「スクール☆ウォーズ」の主人公の熱血教師です。私は当時中学2年生。テレビにかじりついて毎回楽しみに見ていました。荒れ狂った高校に

一人の保健体育教師が着任し、校長先生を中心とする教員集団が一体となって学校を立て直し、着任からわずか6年で見事ラグビーの全国大会(花園)で日本一になりました。

その日本一になった時のキャプテンが平尾誠二(※彼については、後の学校だよりで紹介)です。平尾キャプテンがいつも山口先生から言われた言葉は**「信は力なり」**。この言葉は、山口先生が中学生の時、顧問の先生が言われていた言葉で、ドラマの中で何回も出てきます。着任当初、奮闘する山口先生に、最初は反抗ばかりしていた不良達は、先生の正面からぶつかってくるその「厳しさ」と「やさしさ」に次第に心を開き、ラグビーにひたむきに打ち込むようになります。そして、そのことが、次第に学校全体に良い影響を与え、世間からの評判も良くなり、学校が落ち着いてく

るという好循環が生まれました。そんな時、中学生の時からピカ一のセンスを持ち、京都で有名だった平尾選手が入学するのです。親が反対する中、山口先生が〃君と一緒に日本一になりたい〃と夢を語るシーンは感動的でした。そして、実際に平尾選手が3年生の最後の冬、花園で日本一になるという奇跡が起きるのです。そのモデルとなった伏見工業高校は、その後4回日本一に輝くという日本を代表するラグビー伝説校になりました。

山口先生については、ドラマの中で生徒を殴る有名なシーンがあり、実際に周辺がざわついた時期もあったようですが、そんな中、京都の有名な寺の住職がそれに対し、〃私は、体罰を容認するつもりはないが、山口先生は、生徒の頬の片方を叩きながらも片方を撫でていらっしやる。体罰という言葉だけ

で片付けて果たしてよいものか?〃とおっしゃったそうです。それにより、騒ぎが終息に向かったとの事です。私も体罰が許されると思いますが、ドラマの中で、山口先生が泣きながら生徒を殴るシーンから、教員の権力乱用から来る傲慢な態度は感じられませんでした。

伏見工業高校は、現在校名が京都工学院高等学校に変わりましたが、ユニフォームは当時のままで、部訓も「信は力なり」。今年、9年ぶりに京都の予選を勝ち抜き、花園出場を果たしました。山口先生も杖をつかれ、スタンドから応援されている姿が見られました。監督は、伏見工業高校ラグビー部OBの大島淳史先生で、山口先生の教え子です。実は、教員になっている教え子が40人を超えているそうです。我々教員にとつて、教え子が教職の道に就くことは、この上ない喜びです。